

のう じ でん そう
農 時 電 送

共通NO.1

アワヨトウの異常発生情報！

7月3日渡島管内でアワヨトウによるライ麦畑の食害が確認されました。

今後、イネ科作物ではアワヨトウの発生が懸念されますので、ほ場観察に努め、被害発生に十分留意してください。

【習 性】

- 加害植物：イネ、ムギ類、トウモロコシ、イネ科牧草等イネ科植物
- 幼虫：被害発生時の幼虫は、ほとんどが胴部背面に濃淡の縦線を有し、頭部は橙色で、明瞭な黒色の「八」の字紋を配す。幼虫期間は約30日間7～8齢を経て蛹となる。
- 蛹：体長18mm 茶褐色のヨトウガ蛹様の形状を成す。蛹期間は約15日間。地下20mm程の地中で蛹化する。
- 成虫：前翅の長さ約20mm、全体に灰褐色から淡赤褐色を成し、中央前縁側に2個の淡色紋を配す。

【防 除】

- 薬剤防除：発生予察情報に留意し、幼虫の早期発見に努め、若齢時に防除する。特に水害等で倒伏の多い水田では注意する。薬剤の選択に当たっては、病虫害防除基準を参照する。

～農薬は適正使用を遵守、ドリフトに注意しましょう～